

令和2年8月26日

報道関係者各位

佐賀県 武雄市役所

『防災の日』に“オンライン傾聴ボランティア” が実施されます。

従来のように容易に被災地に駆けつけることができないウィズコロナの時代において、
新たなボランティアの形の構築のため、「応援村 OUEEN-MURA」と連携した「学生応援
村」により、下記の日時「傾聴ボランティア」が実施されます。

1. 日 時 令和2年9月1日（火） 11:00～12:30

2. 会 場 ① おもやいボランティアセンター（武雄市）
武雄市北方町志久高野 1591-4 旧北方幼稚園

② 早稲田大学 戸山キャンパス内 学生会館（東京都）

3. 内 容 武雄市民の方々（会場①）と傾聴講座を受講した「学生応援村」の学生たち
（会場②）をオンラインでつなぎ、災害から1年を迎えた今の様子やこの1
年間の出来事など、市民の方々のお話を学生たちが傾聴します。

— 本件に関するお問い合わせ先 —

全国応援村実行委員会事務局（担当：池上） メール：contact-form@ouen-mura.com

武雄市 総務部 防災・減災課（担当：西山） TEL：0954-23-9223

「コロナと闘う応援村」公民連携プロジェクト
ウィズコロナ時代における SNS を活用した「新しい災害支援」

『 防災の日 』 に “ オンライン傾聴ボランティア ” を実施

令和元年 8 月の豪雨災害から 1 年を迎える武雄市の住民と学生ボランティアをつなぎ、“オンライン傾聴（新しい寄り添いの形）”を実施いたします。

「応援村 OUEEN-MURA」と Facebook Japan との連携の一環として、従来のように容易に被災地に駆けつけることができないウィズコロナ時代の「新しい災害支援」の方法として、学生たちが Messenger ルーム機能（Facebook 社提供）を活用し、下記取組を実施いたします。さらに、「学生応援村」が主体となって立ち上げた公式 Facebook ページを基点とし、災害発生時に被災地のニーズのヒアリングを行う“被災地応援サポート”も学生たちによる「新たな寄り添いの形」として始めます。

なお、「応援村 OUEEN-MURA」とは、全国各地の様々な地域で懸命に生きる人たちを応援するプロジェクトです。地域活性化・コミュニティの再生（人を孤独にしない）という応援村の社会的使命と役割を果たすため、自治体首長が中心となり「コロナと闘う応援村」実行委員会を組成（令和 2 年 5 月 18 日）。同実行委員の松任谷正隆氏・小山薫堂氏と賛同自治体首長（小松武雄市長・鈴木三重県知事・鈴木浜松市長・門川京都市長・高島福岡市長等）等が中心となり、「77 億人えがおプロジェクト」（8 月開始）など具体的な取組を公民連携で推進しています。

記

1. 日 時 令和 2 年 9 月 1 日（火） 11:00～12:30
2. 会 場 ① おもやいボランティアセンター拠点：旧北方幼稚園
（武雄市北方町志久高野 1591-4）
② 早稲田大学 戸山キャンパス内 学生会館（東京都新宿区戸山 1-24-1）
3. 内 容 「一般社団法人おもやいボランティアセンター」に集う武雄市の方々（会場①）と「学生応援村」の学生たち（会場②）をオンラインでつなぎ、災害から 1 年を迎えた今の様子やこの 1 年間の出来事など、住民のお話を学生たちが傾聴します。
また、今回参加される武雄市民の方々は、おもやいボランティアセンターより参加を呼び掛けていただき、ボランティアで参加する学生は、「学生応援村」で開催したオンライン傾聴講座を受講した学生たちです。